

2022

ビキニデーin高知

5/6 | 金 | - 5/8 | 日 |

— 核被災を学び、核のない未来へ つながろう —

5/6 (金) - 7 (土)
「フィールドワーク室戸」

- ・マグロ船見学説明会予定(6日15:00～)
- ・参加者交流会(6日18:00～)
- ・元マグロ漁船員との交流(7日午前)
- ・ビキニ核被災検証会(7日午後)
- 基調報告: 関根元医師(生協きたはま診療所所長)

会場
「ニューサンパレスむろと」室戸市領家235-1

参加費
2日間2,000円(1日のみ1,000円)・学生無料
* 5月6日(金)室戸市一泊朝食付き(1人)5,000円
* バス利用者往復1,500円(高知駅前12:30集合)
* 交流会参加費4,000円
* 5月7日(土)の宿泊予定者は各自でご予約お願いします。

5/8 (日)
「2022ビキニデーin高知」全体集会

受付8:30、開会9:00～13:00

- ・文化行事
- ・記念講演 講師: 高橋博子氏(奈良大学教授)
「核兵器禁止条約発効の時代に生きる世代へ」
- ・パネルディスカッション
テーマ「核被災と私と未来」
- ・ビキニ裁判報告
- ・集会宣言

会場
「高知城ホール」高知市丸の内2-1-10

参加費
1,500円(オンライン参加1,500円)・学生無料

【主催】「ビキニデーin高知」実行委員会 連絡先 | 高知県原水協 TEL/FAX(088)875-3917

(公財)高知新聞厚生文化事業団助成事業(予)

【事務局団体】太平洋核被災支援センター・ビキニ労災訴訟を支援する会、高知県原水爆対策協議会

【後援】高知県(高知県は公益に資する自由な議論の場の確保のため当該事業を支援しています)、高知市、室戸市、土佐清水市、宿毛市、土佐市、黒潮町、安田町、奈半利町、NHK高知放送局、KUTVテレビ高知、RKC高知放送、KSSさんさんTV、高知新聞、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、原水爆禁止日本協議会

フィールドワーク室戸

(要申込、締切り4/22)

開催日：2022年5月6日(金)15:00～17:00／7日(土) 10:00～15:30

会 場：室戸市内・「ニューサンパレスむろと」他

参加費：2日間2,000円（1日のみ1,000円）・**学生無料**

宿泊費：5,000円（ニューサンパレスむろと・1泊朝食付き）

バス代：往復1,500円（5/6高知駅12:30集合、5/7高知駅18:00着予定）

※片道だけの利用の場合もバス代金は同じです。

※5月7日(土)の宿泊を希望される場合は各自でご予約ください。

【企画内容】

- ・ マグロ船乗船見学説明会予定（6日15:00～）
- ・ 元マグロ漁船員との交流（7日午前）
- ・ 討論会ービキニ被災から核のない世界へ（7日午後）
基調報告：間間元医師（静岡県生協きたはま診療所所長）
主 催：ビキニ核被災検証会



間間 元さん

◆参加者交流会（自由参加） 5月6日(金)18:00～／会費4,000円

2021ビキニデーフィールドワーク



2021年3月6日室戸会場の様子

大学生からの感想

『今まで私の中で近代史のごく一部という認識だったビキニ水爆実験が、色のついた映像になり、元漁船員・遺族の方の中で、今でも脈打つ当時の記憶の一端を共有したような感覚を覚えました。』

「初めてのビキニデーin高知」では、2021年3月6日に室戸と幡多フィールドワークを開催。室戸コースには41名、幡多コースには39名が参加しました。参加者には、高知大生や若い教職員、自治体労働者など青年学生の参加も多くあり、元漁船員と遺族のみなさんを励まし、「ビキニ事件」を次世代とともに学ぶ貴重な機会となりました。



2021年3月6日幡多会場の様子

2022プレ企画(2021年6月19日)

近海マグロ漁船の船内見学会

参加者からの感想

『これが、近海マグロ漁の最前線に対峙している船だ。普段はなかなか見ることのできない場所にワクワク感はずまらなかった。ビキニ事件は65年前のことで、遠いことのようにだけれど、そうでもない。説明してくれた若い漁労長のおじいさんは、当時のマグロ船に乗っていたという。そして、この近海マグロ漁船の漁場は三陸沖で、福島のスズコバだ。』



「2022ビキニデーin高知」全体集会

— 核被災を学び、核のない未来へ つながろう —

(要申込、締切り4/22)

開催日：2022年5月8日(日) 9:00～13:00 (受付開始8:30)

会 場：高知城ホール4F 大ホール (定員100名)

参加費：1,500円 (資料代込) 【オンライン参加1,500円】・**学生無料**

オープニング(文化行事)

9:00 合唱曲

「海光る時」 「世界は一つの島なのだーミクロネシア憲法前文」 など

記念講演

9:40 **「核兵器禁止条約発効の時代に生きる世代へ」**

—ヒロシマ・ナガサキ・ビキニそして福島核被災から学ぶ—

講師：高橋博子さん (奈良大学教授)

講師紹介 兵庫県西宮市生まれ／奈良大学文学部史学科教授(アメリカ史・グローバルヒストリア研究)／文化史学博士／日本平和学会理事／広島平和記念資料調査研究委員／第五福竜丸平和協会専門委員：／日本バグウォッシュ会議運営委員／ビキニ核被災検証会チーム
〔著書〕『封印されたヒロシマ・ナガサキ』『核の戦後史：Q&Aで学ぶ原爆・原発・被爆の真実』他



高橋 博子さん

パネルディスカッション

10:50 **テーマ「核被災と私の未来」**

青年・学生が参加して、核被災問題について語り合います

ビキニ労災報告

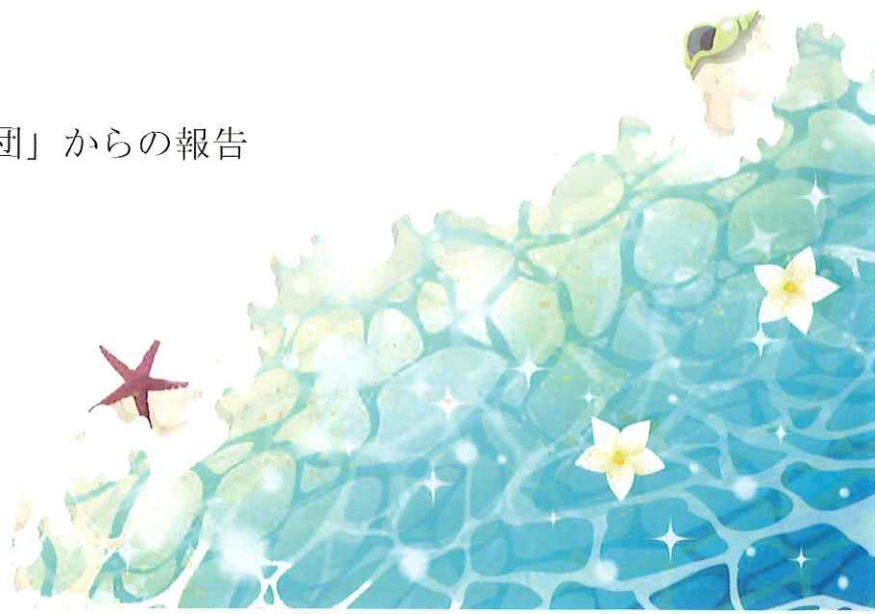
12:30 ビキニ裁判報告

「ビキニ労災訴訟原告団」からの報告

集会宣言

閉会

13:00



新緑の土佐路で『2022ビキニデーin高知』を開催します!

2021年1月22日、核兵器禁止条約発効で核兵器は国際法違反の兵器となり、世界は核兵器に依存する勢力から、「核のない世界」を願う人びとへと主役の交代です。

ヒロシマ・ナガサキ・ビキニそして福島「核」被災者支援と、日本政府に核兵器禁止条約の批准を求め『2022ビキニデーin高知』（5月6日～8日）を、以下の目的で開催します。

1. ビキニ訴訟裁判をたたかう高知の元漁船員と遺族を支援し、全国へ元漁船員の救済運動を広げます
2. 核兵器禁止運動を次世代に継承していくために、青年の参加をすすめます
3. 日本政府に、核兵器禁止条約締約国会議への参加と、条約の批准を求めます

ビキニ事件はまだ終わっていません。ヒロシマ・ナガサキをはじめ、世界の核実験被災者が支援を求めています。「NO NUKES」（核はいらない）の思いを高知で心ひとつにしましょう。

ビキニデーin高知実行委員会 実行委員長 松繁 美和

「ビキニデーin高知」申込書

申込み締切り
2022年4月22日

「ビキニデーin高知」への参加を希望される方は、フィールドワーク、全体集会への参加不参加、および宿泊・バス利用の有無を○で囲んだ申込書を高知県原水協にファックス、メール、郵送のいずれかでお願いします。

下記のQRコードからWebにアクセスし、申し込むこともできます。
(注)コロナ感染状況で開催方法を変更する場合があります。

フリガナ							参加区分	
名前							一般	学生
フィールドワーク	参加日程							
	両日参加 2,000円		5/6のみ 1,000円		5/7のみ 1,000円			
	宿泊5,000円		バス1,500円		交流会4,000円			
	必要	不用	利用	不用	参加	不参加		
全体集会 1,500円	参加方法							
	会場参加		オンライン視聴		人			
連絡先	住所	〒 -						
	連絡先電話番号					FAX番号		
	Eメールアドレス							
備考								

【問合せ・送付先】
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
高知城ホール3階
TEL・FAX: 088-875-3917
Eメール: kochigensuikyou@outlook.jp

個人情報保護法に基づき、この申込内容を目的外に使用することはありません。

【全体集会のオンライン視聴を希望される方】

後日、視聴用パスワードなど、参加マニュアルをお送りします。メールアドレスと電話番号を必ずご記入ください。

- ・コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、手指消毒をお願いします。
- ＝お願い＝ ・フィールドワークの参加者で5/7も宿泊されたい場合は各自でご予約ください。
- ・全体会後の宿泊については各自でご予約ください。

【参加費振込先】四国労金 高知支店 普通 2155591 高知県原水協 事務局長 松繁 美和

※全体集会の会場参加のみの場合は、当日受付でのお支払いも可能です。

